

1. 科目名 (単位数)	臨床心理学概論 (4 単位)	3. 科目番号	SPMP2114 PSMP2114
2. 授業担当教員	鈴木 克也		
4. 授業形態	講義、討議、発表、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	臨床心理学として、その成り立ち、不適応や障害、病、苦悩の発生原因や発生過程、回復の過程を探る科学的側面と、問題を抱える人々に寄り添いながら、適応の調整や人格的成長を促進することで問題の解消や軽減を目指す実践的側面との両面を学ぶ。そのために、心理的援助を必要とする人々の心理を理解するだけでなく、問題を理解するアセスメントの視点から各発達段階に生じやすい心理的問題や障害を理解する。また、問題の解決に向かう代表的な援助の理論や技法について理解を深める。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神疾患や発達障害を含めて、心理的問題を抱える人々の心理を理解し、説明できる。</li> <li>2. 各発達段階における心理的課題や障害を理解し、説明できる。</li> <li>3. 不登校・いじめ・虐待・自死・非行問題といった代表的な心理臨床の問題を理解し、説明できる。</li> <li>4. 心理アセスメントの考え方と方法について理解し、説明できる。</li> <li>5. 主要な心理的援助の理論と技法を理解し、説明できる。</li> <li>6. スクールカウンセリングについて理解をし、説明できる。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業ではグループ発表を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎に与えられたテーマについての発表に向けて、グループ内で役割分担をして準備し、発表する。</li> <li>・テーマは以下の内容を予定している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○「乳幼児期・児童期の健康な発達像と心理的問題」「青年期・成人期の健康な発達像と心理的問題」「老年期の発達課題と心理的問題」「心理アセスメント」「心理面接によるアセスメント」「精神分析学の考え方」「来談者中心療法の考え方」「行動療法的前提となる学習理論」「認知行動療法の考え方」「グループ・アプローチの考え方」「各領域における臨床心理学的実践」</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2. レポート課題について。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の心理臨床学的諸問題の中から、学生が自らテーマを選択し、問題解決に向けて臨床心理学がどのように貢献できるかを論じる。</li> <li>・レポートは1200字程度で作成する。</li> </ul> </li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 下山晴彦編『よくわかる臨床心理学』ミネルヴァ書房。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神疾患・発達障害を含めた心理的問題を抱える人の心理的理解</li> <li>2. 各発達段階における心理的課題と障害の理解</li> <li>3. 代表的な心理臨床の理解</li> <li>4. 心理アセスメントの考え方と方法の理解</li> <li>5. 主要な心理的援助の理論と技法の理解</li> <li>6. スクールカウンセリングについての理解</li> </ol> </li> <li>○評定の方法            授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。            レポート課題 40%            授業への参加 30%            発表 30%            以上で評価を行う。         </li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業には積極的な態度で参加し、理解できないことがあったら、自ら進んで教員に質問すること。</li> <li>2. 正当な理由がない限り、欠席・遅刻・早退をしないこと。欠席・遅刻・早退をした場合は、その理由を必ず教員に書面をもって報告すること。</li> <li>3. 他の受講生に迷惑をかける行為（発表時の欠席、私語 等）は慎むこと。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	別途連絡する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション ・グループ分け	事前学習	臨床心理学から、自分が学びたいことをノートに書き出す。
		事後学習	グループ発表に向けた今後の打ち合わせを行う。
第2回	臨床心理学はどのように生まれ、展開してきているのか (アメリカでの展開と日本での経過)。	事前学習	テキスト pp.18-25 を通読し、要点を学習ノートにまとめる。
		事後学習	臨床心理学とは何かを自分の言葉にして学習ノートにまとめる。
第3回	正常と病理の概念について理解する。	事前学習	正常と異常について考えたことをノートにまとめる。
		事後学習	正常と異常の判断基準を学習ノートにまとめる。

第4回	神経発達障害（知的障害を含む）の全体を理解する。	事前学習	神経発達障害について、自分の知っている事柄やそれに関連した自分の体験をノートに箇条書きしてくる。
		事後学習	神経発達障害のそれぞれの特性を学習ノートにまとめる。
第5回	発達過程で生じる問題を知り、その問題への臨床心理学的アプローチについて学ぶ。	事前学習	テキスト pp.128-139 を通読し、発達過程で生じる問題を学習ノートにまとめる。
		事後学習	発達過程で生じる問題に対する臨床心理学的支援の方法を学習ノートにまとめる。
第6回	不安障害について理解する。また、現代人が持つ神経症傾向についても学習する。	事前学習	自分の経験から、人が不安になるころの仕組みを考えてくる。
		事後学習	不安障害についての理解を学習ノートにまとめる。
第7回	双極性障害とうつ病性障害の理解と援助の基礎を学ぶ。	事前学習	うつ病性障害について調べて学習ノートにまとめる。
		事後学習	双極性障害とうつ病性障害に対しての心理的支援の要点を学習ノートにまとめる。
第8回	統合失調症の理解と援助の基礎を学ぶ。	事前学習	統合失調症について調べて、学習ノートにまとめる。
		事後学習	統合失調症に対しての心理的支援の要点を学習ノートにまとめる。
第9回	乳幼児期の発達課題と心理的な問題を理解する。	事前学習	乳幼児期の健康な発達像について調べて、学習ノートにまとめる。
		事後学習	乳幼児期の発達課題と心理的問題について学習ノートにまとめる。
第10回	学童期の発達課題と心理的な問題を理解する。	事前学習	学童期の健康な発達像について調べて、学習ノートにまとめる。
		事後学習	学童期の発達課題と心理的問題について学習ノートにまとめる。
第11回	思春期の発達課題と心理的な問題を理解する。	事前学習	思春期の健康な発達像について調べて、学習ノートにまとめる。
		事後学習	思春期の発達課題と心理的問題について学習ノートにまとめる。
第12回	青年期の発達課題と心理的な問題を理解する。	事前学習	青年期の健康な発達像について調べて、学習ノートにまとめる。
		事後学習	青年期の発達課題と心理的問題について学習ノートにまとめる。
第13回	成人期の発達課題と心理的な問題を理解する。	事前学習	成人期の健康な発達像について調べて、学習ノートにまとめる。
		事後学習	成人期の発達課題と心理的問題について学習ノートにまとめる。
第14回	老年期の発達課題と心理的な問題を理解する。	事前学習	老年期の健康な発達像について調べて、学習ノートにまとめる。
		事後学習	老年期の発達課題と心理的問題について学習ノートにまとめる。
第15回	心理アセスメントの理解（見立てと診断の違い）と、その多様性を知る。知能検査・パーソナリティ検査についても理解する。	事前学習	テキスト pp.46-61 を通読して、わからない用語や理解できない事柄を書き出してくる。
		事後学習	心理アセスメントと医学的診断の違いについて、学習ノートにまとめる。心理テストの実施をめぐる諸問題については学習ノートにまとめる。
第16回	力動論（特に、精神分析学）について理解する。フロイトの自我構造論・防衛機制の考え方を学び、分析心理学の考え方も理解する。	事前学習	テキスト pp.146-149 を通読し、興味のある箇所を書き出す。
		事後学習	自我構造論・防衛機制および分析心理学の考え方を学習ノートにまとめる。
第17回	人間性心理学（特に、来談者中心療法）について理解する。ロジャースの自己理論の考え方およびカウンセラーの3条件を学ぶ。	事前学習	テキスト pp.142-145 を通読して、学習理論が当てはまる身の回りの出来事をリストアップする。
		事後学習	自己理論の考え方とカウンセラーの3条件について学習ノートにまとめる。;
第18回	行動論について理解する。	事前学習	テキスト pp.154-157 を通読して、学習理論が当てはまる身の回りの出来事をリストアップする。
		事後学習	行動論について理解したことを学習ノートにまとめる。

第19回	認知行動療法について理解する。認知行動療法における臨床面接の進め方の実際を学ぶ。	事前学習	捉え方の違いによって自分の感じ方が変わった実体験を思い出して書き出してくる。
		事後学習	認知行動療法が依拠するABC図式について整理する。
第20回	システム論について理解する。代表的な家族療法の考え方を学習する。	事前学習	テキスト pp.162-165 を通読して、分からない言葉を書き出してくる。
		事後学習	以下の2点について学習ノートを使用して整理する。 ①直線的因果律と円環的因果律について②家族療法の技法について。
第21回	教育領域における心理臨床について理解する。特に、スクールカウンセリングについて学習し、コミュニティアプローチを理解する。	事前学習	テキスト pp.262-265 を通読しておく。
		事後学習	教育領域における心理臨床について、要点を学習ノートにまとめる。日本におけるスクールカウンセラー制度についてまとめる。
第22回	不登校・いじめ問題を理解し、その心理的援助について学ぶ。	事前学習	不登校問題の原因について、自分が考えたことを学習ノートにまとめる。
		事後学習	不登校・いじめ問題の要点を学習ノートにまとめる。
第23回	福祉領域の心理臨床について理解する。	事前学習	テキスト pp.270-273 を通読しておく。
		事後学習	福祉領域における心理臨床について要点を学習ノートにまとめる。
第24回	虐待問題、障害をもつ人、高齢者への心理的支援を学ぶ	事前学習	虐待問題の対策について自分が考えたことを学習ノートにまとめる。
		事後学習	虐待問題の要点を学習ノートにまとめる。
第25回	医療領域の心理臨床について理解する。	事前学習	テキスト pp.266-269 を通読しておく。
		事後学習	医療領域における心理臨床について要点を学習ノートにまとめる。
第26回	がん医療およびリエゾン医療における心理臨床を学ぶ。	事前学習	医療領域の心理臨床的問題を自分なりに考えて学習ノートにまとめる。
		事後学習	リエゾン医療における心理臨床について学習ノートにまとめる。
第27回	産業領域の心理臨床を理解する。	事前学習	テキスト pp.278-281 を通読しておく。
		事後学習	産業領域における心理臨床について、要点を学習ノートにまとめる。
第28回	自殺問題を理解し、その予防について学ぶ。	事前学習	自殺問題の予防策について自分が考えたことを学習ノートにまとめる。
		事後学習	自殺問題の予防策について要点を学習ノートにまとめる。
第29回	司法・矯正領域の心理臨床を理解する。	事前学習	教科書 pp.274-277 を通読しておく。
		事後学習	司法領域における心理臨床について要点を学習ノートにまとめる。
第30回	非行問題を理解し、その心理的援助について学ぶ。	事前学習	非行問題について、自分が考えたことを学習ノートにまとめる。
		事後学習	非行問題の心理的援助について、学習ノートにまとめる。